

SSH第Ⅳ期 KSP 3年間の流れ

学年	1 年 KSPⅠ	2 年 KSPⅡ	3 年 KSPⅢ
SSH 目標	海とエネルギーのまち柏崎から総合知を活用して課題を解決できる国際性豊かな人材の育成		
重要キーワード	<div>人文社会学 国際関係学 芸術 体育</div> <div>×</div> <div>自然科学 工学</div> <div>=</div> <div>新価値 新発見</div> <div>→</div> <div>課題解決</div> <div>★文理融合</div> <div>★総合知</div>		
KSP 活動目標	①課題研究を行う上で必要な思考法 ②地域理解により文化や考え方の基盤となるアイデンティティ確立 ③柏崎の地域資源である海、エネルギー、環境をキーワードとする課題研究	①総合知を活用して課題を解決する文理融合課題研究 ②文理融合促進のための理数スペシャリスト養成のための課題研究	①課題研究の成果を日本語または英語で発表し、論文集を作成。 ②総合知を活用して社会の政策課題についてディベートを行い、論理的な説得力を養成。
4 月	『SSH・KSPガイダンス』 『クリティカルシンキング』 与えられた情報や常識にとらわれず、徹底的に物事の本質を見極める思考法	『リサーチクエスト』 先行研究調査を深め、実験の計画を作成し、自分たちが設定した問いに対して、仮説を立て、調査・実験で実証しよう	『SSH課題研究発表会』 これまで取り組んできた課題研究の成果を柏崎市文化ホールアルフォーレで、日本語または英語のプレゼンテーションによるステージ発表を行う。
5 月	『仮説思考』 先の見通し(仮説)を立ててから、逆算して必要な計画を立てる思考法	『課題研究活動』 実験や調査を行い、データや記録を収集 企業訪問、大学訪問、オンラインでのやりとり	『論文作成』 課題研究の成果を論文にまとめ、論文集を発行。
6 月	『チームビルディング』 1人では思いつかないようなアイデアや価値をチームメンバーの相乗効果で創出。	『科学オリンピック講座』	『論文』
	『SSHスーパーイノベーション講演会』 先進的な科学研究者による講演を聴いて知識を深めよう！ 【1年】科学において、どんな社会課題があるか知る 【2年】現代的な社会課題に、どんなアプローチで取り組むのか知る 【3年】研究がどのように社会に関わり貢献しているか知る		
7 月	『日韓研究交流会Ⅰ』 韓国・姉妹校・新道林高校が来校し、研究発表会および異文化交流	『科学技術コンテスト 参加・出品』	
8 月	『サイエンスツアーⅠ』(希望者) 最先端の科学技術を体験するツアーで、関東方面の研究施設や大学、企業、科学館などを訪問する	『サイエンスエクスターンシップ』 大学や企業などで研究スキルの実践的研修	『新潟県SSH課題研究発表会 in長岡』
9 月	『リサーチ・クエスト』 ― 課題研究テーマ設定 柏崎の地域資源である海・エネルギー・環境をキーワードとして研究テーマ(リサーチ・クエスト)を設定	『高校生先端科学講座』	『SSH生徒研究発表会 in神戸』
10 月	『課題研究活動』 柏崎の地域資源である海・エネルギー・環境をキーワードとしてリサーチクエストに基づく課題研究を進める	『サイエンススクール』(中学生) オープンスクール時に2年生が講師となり、中学生に科学の楽しさを伝える	『ディベート活動』 ある論題に対して肯定側と否定側に分かれて主張・反論をし、第三者(聴衆、ジャッジ)を説得する討論ゲーム これまでKSPで培ってきた情報収集能力・論理的思考力・クリティカルシンキング・コミュニケーション能力を駆使して、チームで勝利をめざす どうすれば聴衆やジャッジを説得できるか？
11 月	『日韓研究交流会Ⅱ(韓国研修)』 韓国姉妹校の新道林高校を訪問し、研究発表や交流を行う	『課題研究中間発表会』 企業・大学の先生から指導	『発展学習』 これまでの学びを未来の自分に、未来の柏高に役立てるには…？
12 月	『サイエンススクール』(小学生) 1年生が講師となり、小学生に科学の楽しさを伝える		
1 月	『ポスター作成・発表会準備』 研究成果をポスターにまとめ、発表の準備をしよう	『発表会の準備』 研究成果をスライドやポスターにまとめ、発表の準備をしよう	3年間を通して自分の力を磨いていこう
2 月	『KSPⅠ課題研究発表会』 課題研究の成果をポスターにまとめ発表		
3 月	『KSPⅡに向けて』 ガイダンス リサーチクエスト 1年生も2年生の発表を聴講します。次年度の参考にしよう	『KSPⅡ課題研究発表会』 ポスターセッション 『KSPⅢガイダンス・発表準備』	